

事業名 **小学校外国語活動支援事業**

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	子どもの可能性を伸ばす教育の充実	基本事業	教育内容の充実		
部名	教育部	事業開始年度	平成14年度	区分1	継続	実施計画事業認定	対象
課名	学校教育支援室 学校教育課	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市内小学校児童
意図	外国人とのコミュニケーションをとる機会を提供することにより、英語に慣れ親しむとともに、児童の基礎的・実践的コミュニケーション能力（聞く話す）の向上を図る。
手段	小学校において5・6年生で年間35時間「外国語活動」が必修化されることに伴い国際化に対応した授業を支援し、児童の基礎的・実践的な英語能力の向上のため、外国語指導助手を派遣することで、更なる指導体制の充実を図る。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	小学校児童数	人	6,929	6,750	6,526	6,311	
対象指標2							
活動指標1	小学校外国語指導助手が入った授業の年間時数	時数	534	2,905	2,631	2,746	
活動指標2							
成果指標1	小学校英語の総授業時数のうち、外国語指導助手が授業に入った割合	%	100	100	100	100	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	10,470	11,933	11,958	14,995	0
正職員人件費(B)		千円	2,507	2,489	2,498	2,851	0
総事業費(A)+ (B)		千円	12,977	14,422	14,456	17,846	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)
 小学校において5・6年生で年間35時間「外国語活動」が必修化されることから、これまで以上に充実した指導体制を確立する必要があるため、外国語指導助手を1名増員する。

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ3年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低置下			